

## 改善症例

20歳代 女性 小学校教諭(養護学級)

診断名；左肩関節周囲炎

分娩麻痺(出産時に、神経の損傷があり左上肢は元々不自由であった)

Q.身体で悩みだった部分はどこですか？

A.左手が動かなくなる。痛みが強い。よく痙攣する。  
元々動かせなかったこともあり、使い方がわからない。

Q.治療するきっかけは？(どのように知りましたか？)

A.整形外科クリニックの先生から、受けてみたら？と言われた。

Q.(治療を受けて)身体にどのような変化がありましたか？

A.手が軽くなり、動かしやすくなった(挙がる幅も広がった)  
日常生活で使おうとする機会が増えた

Q.治療はどのようなものでしたか？これまで受けた治療(リハビリ・整体・接骨院・鍼灸...)

A.以前(小学校の時など)は同年齢の子ができる日常生活動作(ボール投げや縄跳び)の練習だけがリハビリであったが、動かし方や使い方等の基本となる動き、感覚を磨いていきことをやってもらっているような感触で、使い方を学習していった。

Q.現在の状態、ハッピーな点はありますか？

A.諦めることが減った  
できる範囲が広がった